



## VI-18 実棚データ取込

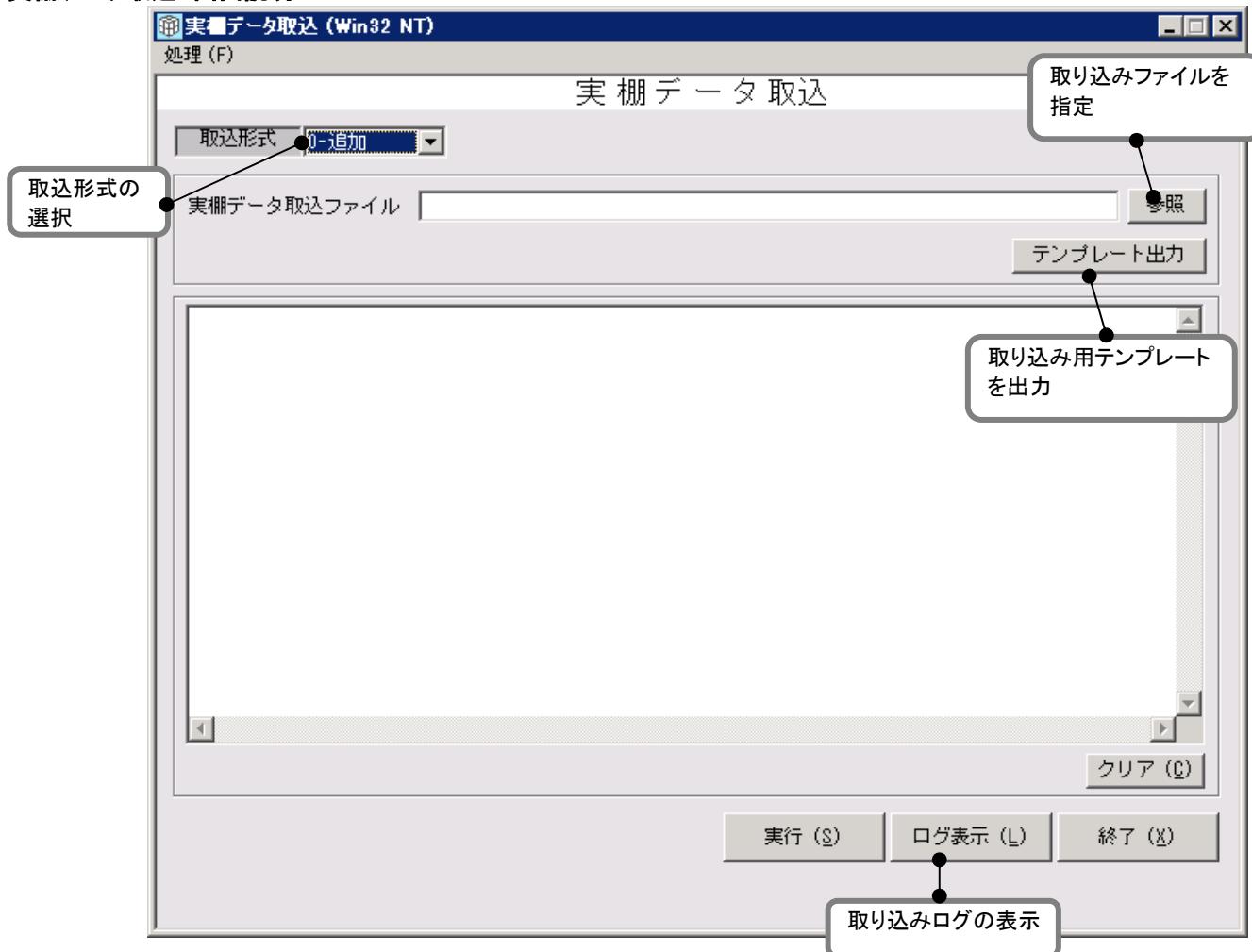
### 実棚データ取込の役割

画面で指定したデータファイルから棚卸データをNBSの実棚明細として取り込みます。

取り込み後のデータを修正・削除する場合は実棚確定するまでに

NBSシステム 出荷管理内の「実棚入力」「らくらく実棚入力」で呼び出して修正・削除を行います。

#### 実棚データ取込 画面説明



取り込み実行を行う前に、「棚卸日設定」が必要です。  
棚卸日設定で該当の倉庫・店舗に対して設定が行われているか  
事前にご確認ください。

# 出荷管理システム

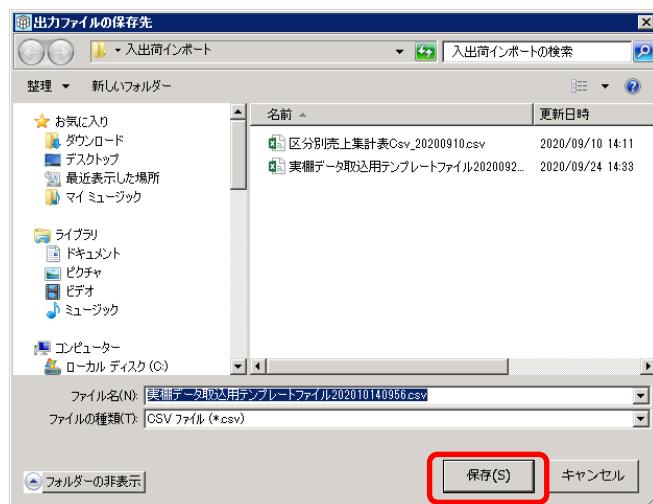


## 操作方法

### 1. テンプレート出力

テンプレート出力ボタン押下し、保存先を選択後に保存ボタン押下にてファイルを保存します。

※保存されたテンプレートファイルへ実棚データを入力します。



### 2. 取込形式

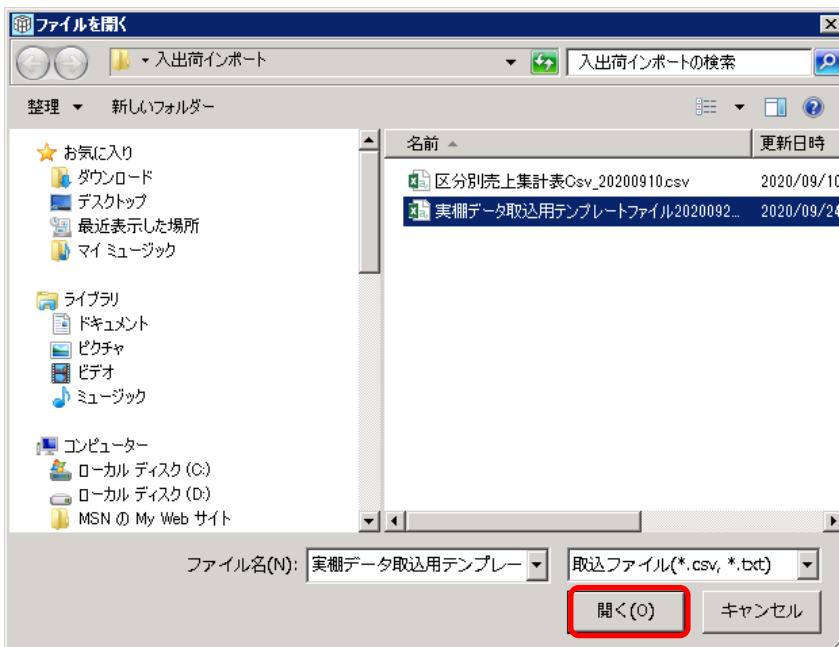
取込形式を[0-追加]、[1-上書き]より選択します。

- ・0-追加 : 登録されている実棚データがある場合、追加データとして登録します。
- ・1-上書き : 登録されている実棚データがある場合、登録されている実棚データを削除し、今回取り込む実棚データのみで上書き登録します。(棚卸のやり直しなどで使用)

### 3. 参照

参照ボタン押下し、取り込むデータファイルを選択後に開くボタン押下にてファイルを選択します。

取り込み対象ファイルの拡張子は「.csv」です。



# 出荷管理システム

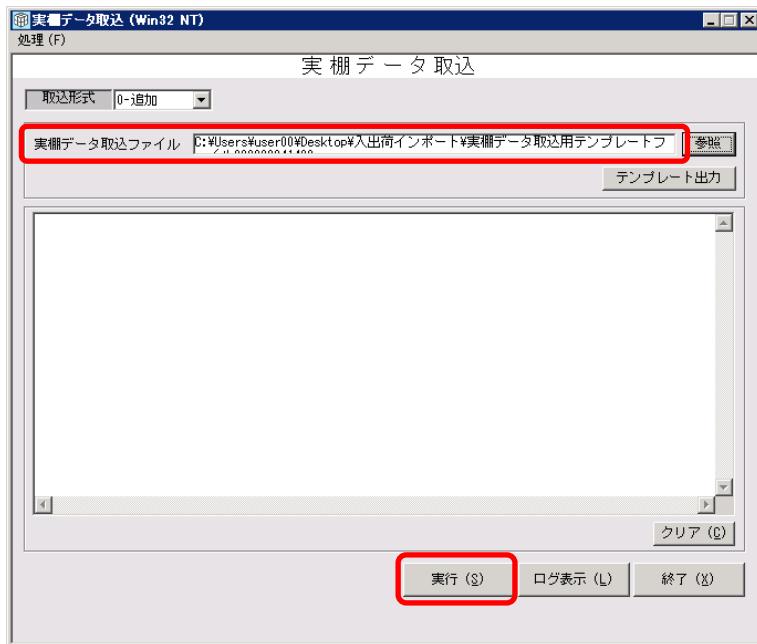


## 4. 実行

取り込むデータファイルを選択後に、**実行**ボタンを押下すると実棚データの取り込みを開始します。

棚卸日は「棚卸日設定」で設定された棚卸実施日に準拠します。

棚卸確定日を過ぎている場合は、実棚データの取り込み対象外としてエラーにします。



※不正なデータが存在した場合は、ファイル全体の取り込みを中止します。

該当箇所を修正し、再度取り込みを行います。

※取り込みデータの修正は、「実棚入力」「らくらく実棚入力」にて行います。

## 5. ログ表示

**ログ表示**ボタン押下後に、出力年月日を選択すると取り込みログを表示します。

取り込みエラーが発生した場合、ログの内容を確認し修正を行います。



## 6. 終了

**終了**ボタン押下にて、オプション処理画面に戻ります。

# 出荷管理システム



## 実棚データ取り込みのレイアウト

NBS システムへ取り込む Excel ファイルのレイアウトです。

以下のレイアウトは、横軸(X 軸)が[カラー]、縦軸(Y 軸)が[サイズ]の場合を掲載しています。

No.	必須	項目名	形式	桁数	備考
1	○	出庫元本店	文字	6	倉庫または店舗の本店コード
2		出庫元支店	文字	4	倉庫または店舗の支店コード
3		棚 No	文字	8	半角英数字のみ 未入力の場合は棚 No 空白として扱う
4	△	JAN コード	文字	13	JAN コードマスター利用時に利用 <b>本項目と No.5-8 の品番 SKU 情報の 両方を入力した場合は JAN コードを優先して取り込みを行う</b>
5		品番	文字	15	品番を利用する場合は No.5-8 が必須 JAN コードを利用する際は入力不要
6	△	SEQ	数値	1	空白の場合は SKU 情報から自動取得 (別 Seq で同一 SKU がある場合は最小値)
7		サイズ(Y 軸)	文字	6	名称ではなくコードで指定を行う
8		カラー(X 軸)	文字	6	
9	○	数量	数値	6	整数値のみ マイナス入力も可能 数量が 0 の場合はエラーとする

### 【注意事項】

- CSV ファイルの 2 行目から取り込み対象となります。1 行目のヘッダー部は削除せず使用してください。
- ゼロ始まりのコードを指定する際は、編集上、ゼロが見える表示形式にしてください。(例:000192 など)
- コードを指定する項目については事前に NBS システム上にマスター登録が必要です。
- 同一品番 SKU、または JAN コードが複数行に記載されている場合は、集約せずにそのまま取り込みます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	拠点コード <sup>1</sup>	拠点コード <sup>2</sup>	棚No	JANコード <sup>1</sup>	品番	SEQ	サイズコード <sup>1</sup>	カラーコード <sup>1</sup>	数量
2	0001		001		12345	0	001	009	5